

HP 用、本院患者さんへの情報公開用文書

「視神経炎の画像診断における後ろ向き観察研究」についてのご説明

●はじめに：

MRI による視神経炎の画像所見は詳細が知られていません。そこで視神経炎の画像所見に関して調査し、臨床診断に役立つ画像所見について研究しています。

●対象：

眼科を受診し 2008 年 6 月 1 日から 2012 年 6 月 31 日までに眼窩の MRI 検査を受けた患者さんが対象です。

●方法：

- ・通常の診療で得られる検査結果と撮影される MRI 画像を使用します。
- ・新たな検査を追加することは無く、患者さんに余分な費用や危険性は生じません。

●個人情報について：

- ・個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報は削除しています。
- ・研究結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。
- ・研究の目的以外に被験者のデータを用いません。

●眼科を受診し 2008 年 6 月 1 日から 2012 年 6 月 31 日までに眼窩の MRI 検査を受けた患者さんで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。

●研究期間：病院長承認日から 2015 年 3 月 31 日まで。

●医学上の貢献：

研究結果は、視神経炎の診断の一助になり、患者さんの治療と予後に貢献することが期待されます。

●問い合わせ先

〒060-8543 札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学附属病院 放射線医学講座、放射線診断学

本院研究責任者 庄内孝春、同研究分担者 小野寺麻希

平日：tel) 011-611-2111 (内線 3501)

夜間・休日：fax) 011-633-6885 (休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい)